みよし議会だより

まるなっ

第157号
2026年11月1日
発行／みよし市議会

令和8年第3回(9月)定例会報告



「保田ヶ池」

目次

定例会報告……P2
議決結果・賛否結果一覧……P3
常任委員会報告……P4～P9
市政を問う(代表質問・一般質問)……P10～P13
議会運営委員会・特別委員会活動報告……P14～P15
議会傍聴声かけ隊……P16

議会ホームページは
こちらからご覧になれます。

定例会報告・議決結果

令和8年 第3回（9月）定例会報告

令和８年第３回定例会は、９月１日（火）から18日（金）までの18日間の会期で開催。条例の制定、条例の一部改正、令和７年度決算の認定など18件が審議されました。主な内容を報告します。

（千円以下切捨て）

条例の制定

○議会の議員及び長の選挙における電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例の制定

「地方公共団体の議会の議員及び長の選挙に係る電磁的記録式投票機を用いて行う投票方法等の特例に関する法律」第３条の規定に基づき、みよし市議会議員とみよし市長の選挙において電子投票を実施するため、必要な事項を定めます。

条例の一部改正

○認可地縁団体印鑑条例の一部改正

地方自治法施行規則の一部改正に伴い、必要な改正を行います。

○病院事業の設置等に関する条例の一部改正

地方自治法の一部改正に伴い、必要な改正を行います。

○廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の一部改正に伴い、必要な改正を行います。

○水と緑の風景を守り育てる条例の一部改正

景観法の一部改正等に伴い、必要な改正を行います。

一般会計補正予算（第３号）

歳入歳出に14億4,032万円を追加し、予算総額295億988万円とします。

歳入

○不妊治療費助成事業費補助金（1/2）	5万円
○企業版ふるさと納税寄附金	100万円

歳出

○財政調整基金等積立事務	10億6,100万円
○障がい者福祉センター事業	58万円
○介護保険特別会計繰出事務	8万円
○保育園運営事業	207万円
○不妊治療費助成金事業	362万円
○観光振興事業	344万円
○道路維持管理事業	1億3,859万円
○道路改良事業	2億762万円
○市営住宅維持管理事業	147万円
○幼稚園支援事業	180万円
○予備費（熊本県益城町と八代市への災害支援）	2,000万円

国民健康保険特別会計補正予算（第１号）

歳入歳出に9,410万円を追加し、予算総額44億1,786万円とします。

介護保険特別会計補正予算（第１号）

歳入歳出に5,557万円を追加し、予算総額31億5,260万円とします。

病院事業会計補正予算（第１号）

給食業務委託【債務負担行為】限度額1億6,988万円（令和９年度から令和11年度まで）

院内保育所運営等業務委託【債務負担行為】限度額1億1,708万円（令和９年度から令和11年度まで）

同　意

○固定資産評価審査委員会の委員に、引き続き、原田憲秀氏を選任することに同意しました。（任期：令和８年10月1日から令和11年9月30日までの３年間）

○教育委員会の委員に、多田羅千代子氏を選任することに同意しました。（任期：令和８年10月1日から令和12年９月30日までの４年間）

決算認定

〇監査委員報告

一般会計、特別会計、公営企業会計の決算について、全て適正に処理されているものと認められ、また健全化判断比率・資金不足比率を審査し、いずれも良好な状態にあり、本市財政の健全性は高いものと報告がありました。

令和８年第３回定例会　賛否結果一覧

議案番号等	議案名	議決日	議決結果	新世紀の会											希望の風			公明党		市民フォーラム		日本共産党		
				御国しおん	奥村　祐右	竹谷　明永	鳥羽富士夫	増岡　義弘	塚本　直樹	福安金之助	塚本　克彦	藤川　仁司	小嶋　立夫		寺本　弘子	林　久子	原口百合子	伊地田妙子	阿部　憲明	田中　祐二	渡邊　郁夫	牧田　充生	水谷　正邦	水野　隆市
議案第45号	議会の議員及び長の選挙における電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例の制定について	９月18日	原案可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	認可地縁団体印鑑条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	水と緑の風景を守り育てる条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	令和８年度一般会計補正予算(第３号)	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	令和８年度国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和８年度介護保険特別会計補正予算(第１号)	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	令和８年度病院事業会計補正予算(第１号)	〃	〃	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	令和７年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第18号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	９月１日	原案同意	○	○	○	○		○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第19号	教育委員会の委員の選任について	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第１号	令和７年度一般会計歳入歳出決算認定について	９月18日	原案認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第２号	令和７年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第３号	令和７年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第４号	令和７年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第５号	令和７年度下水道事業会計決算認定について	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第６号	令和７年度病院事業会計決算認定について	〃	〃	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成：○　　賛成以外：×　　退席：退　　本会議欠席（早退を含む）：欠　　議長：議長は議決に加わらない。

常任委員会報告

予算決算委員会報告

委員長：小嶋　立夫

主な審査内容

議案第 50 号
令和８年度一般会計補正予算（第３号）

【歳出】

観光振興事業

Q 冬季は乾燥して火災が発生しやすく、また、寒さにより外出の機会も少なくなる。冬に花火を打ち上げる必要性、安全対策および事業の意義はどのようか。

A 冬の澄んだ空気の中で打ち上げる花火には魅力がある一方、空気が乾燥する時期であるため、安全対策には十分配慮します。打ち上げ場所は三好池の堤防を予定していて、周辺を立入禁止とし、堤防のり面への散水を行い、消防署をはじめとする関係機関や花火師と調整し、安全を確保して実施します。また、当日の気象状況にも十分配慮します。事業の意義は、「還暦花火の日」の12月５日に全国一斉で還暦花火を打ち上げる取り組みに参加し、還暦を迎える人への感謝とエールを伝えるとともに、花火を通じてみよし市の魅力向上を図るものです。

道路維持管理事業

Q 道路修繕計画に多額の費用をかけている以上、市民が修繕時期を把握できるよう公表すべきではないか。

A 必要な注釈を付した上で、今後ホームページで公開したいと考えています。

道路改良事業

Q 市道八和田線の道路改良の計画内容と経緯は。

A 市道中大通線と市道八和田下畷線を結ぶ道路として計画されていて、幅員９メートル、延長146メートルです。昭和41年に都市計画決定された市道中大通線とともに計画された道路です。

Q 今回の土地購入と物件移転補償により、市道八和田線の用地取得は、どの程度進むのか。

A 市道八和田線道路整備事業に必要な用地面積は1,179.86平方メートルで、現在までに504.45平方メートルを取得しています。今回予定している用地を取得できた場合、取得済み面積は1,078.50平方メートルとなり、全体の91.4％まで進みます。残る未取得用地は101.36平方メートルで、全体の8.6％です。

教育施策推進事業

Q 学校集金管理システムの導入により、教職員の負担が具体的にどのように軽減されるのか。

A 担任が電話で行っている未納者への督促を、システムからの自動メールで行うことができ、集金した現金が注文内容と一致しているか確認する作業も不要となるため、教職員の負担は大きく軽減できると考えています。

地域学校活動推進事業

Q 放課後こども教室から「わくわくたいけんプログラム」に名称を変更した理由は。

A 放課後こども教室は、これまで「わくわくたいけんルーム」という名称で、小学校１年生から６年生までを対象に実施してきました。令和９年度からは、対象を小学校４年生から６年生とし、スポーツ、文化芸術、教養など、これまで以上に高学年に特化した内容へ変更します。事業内容の変更をこどもや保護者に分かりやすく周知するため、「わくわくたいけんプログラム」に名称を変更するものです。



予備費

Q 熊本県益城町（ましきまち）と八代市（やつしろし）への災害支援物資の送付に当たり、被災地から必要な物資の要望を聞いたか。

A 発災直後に、ペットボトルの水やおむつ、汗拭きシート、簡単に食べられる食品などの需要を確認し、準備

できる物資を送付しました。その後、上下水道などの復旧に伴い、被害調査や災害廃棄物処理などの人的支援へニーズが移行していると聞いています。

Q 被災地へ派遣した職員の人数と期間は。

A 第１陣として２人を８月７日から９月４日まで派遣し、税務課職員は罹災証明関連業務、生活環境課職員は災害廃棄物の受け入れ業務に従事しました。また、第２陣として税務課職員１人を９月４日から９月25日までの予定で派遣し、罹災証明関連業務に従事しています。

Q 災害ボランティア活動事業補助金は、益城町と八代市以外の被災地で活動した場合も対象になるか。

A 災害救助法が適用された災害の被災地で行うボランティア活動であれば、熊本県内に限らず補助対象となります。

Q 補正予算成立前に、既に被災地で活動した場合もさかのぼって補助対象になるのか。

A 予備費を充用し、令和８年８月１日分から遡及適用します。

認定第１号　令和７年度一般会計歳入歳出決算認定

ふるさと納税返礼品 PR推進事業

Q 寄附額の多い返礼品について、上位３品の品名と寄附額は。

A 第１位は除菌空気清浄機で2,501万1,000円、第２位は新生児用コンパクトベッドで603万2,000円、第３位は新生児から大人まで使用できるスクロールチェアで581万円です。

地区拠点施設整備事業

Q 事故繰越分を含めたみなよし交流センターの建設工事費の総額は。

A 事故繰越額２億8,388万7,500円を含め、建設工事費の総額は21億971万7,500円です。

Q 他の基金は定期預金で運用しているものが多いが、公共施設維持管理基金を債券で運用した理由は。

A 一般的に定期預金より債券の利率が高いため、安全性を確保しながら運用収益を増やす目的で、より有利な債券を購入しました。



みなよし交流センター

住民基本台帳・印鑑登録事務

Q マイナンバーカードの保有率の推移は。

A 令和７年４月１日現在81.7%、令和８年４月１日現在86.8%、令和８年９月１日現在88.3%です。

障がい者自立支援事業

Q 成年後見支援センター事業委託の内容と現在の状況は。

A 成年後見制度に関する相談対応や申し立てに必要な手続の説明と書類の書き方の支援を行っています。また、成年後見支援センターの職員が後見人となって本人を支援する法人後見など、成年後見制度の利用促進に係る業務を行っています。その他、市民や関係団体に向けた広報啓発活動や研修会を実施しています。令和７年度は、延べ832件の相談と支援を行いました。

地域介護予防活動支援事業

Q 通いの場として登録された団体の単位や講師1人当たりの参加人数に基準があるのか。

A 市民が主体となって介護予防活動に取り組むグループを１団体として、１回当たりの参加人数は団体によって幅があり、10人未満の場合もあります。謝礼の支給要件は、１回の活動に市内在住の65歳以上の人が５人以上参加し、月２回以上継続して活動し、介護予防運動を含む30分以上の活動を行うことです。

家庭ごみ計画収集事業

Q 剪定枝粉砕機３台の貸出実績は。

A 令和７年10月から貸し出しを開始しました。剪定作業が少ない時期を除き、貸出カレンダーの７割から８割程度が埋まっています。利用者の約９割が、粉砕した枝を堆肥や敷材などに活用し、ごみとして排出しないと回答していて、リピーターもいます。

住宅・建築物安全ストック形成事業

Q 令和７年度の無料耐震診断件数と耐震改修工事件数は。

A 民間木造住宅の無料耐震診断は38件、木造住宅耐震改修工事は11件です。

Q 建築物耐震改修促進計画の改定により把握した、住宅耐震化の進捗状況は。

A 耐震性のある住宅の割合は、木造・非木造を合わせて93％です。

児童生徒交通安全防犯対策事業

Q 通学路安全対策工事が北部小学校と三好丘中学校のみとなっているが、他校から要望はなかったのか。

A 他校からも要望があります。通学路合同点検で現場を確認し、道路管理者や警察関係者と協議した上で、危険度や必要性を考慮して予算要求しています。

中学校部活動支援事業

Q 令和７年度の休日の活動状況と現在の地域展開の状況は。

A 令和７年度は地域クラブ活動への移行期間として、地域指導者を確保できた種目は、部活動顧問と地域指導者の双方による指導の下で休日の活動を行いました。令和８年度からは、休日の部活動を全ての種目でそれぞれの実情に応じた地域展開を行っています。なお、吹奏楽部以外の文化系部活動は、生涯学習講座などへの参加を推奨しています。

図書館学習交流プラザ管理運営事業

Q 新たに整備する駐車場について、面積、駐車可能台数、駐車場以外の活用予定と休館日の取り扱いは。

A 駐車場の面積は、道路用地を含め、令和７年度と令和８年度に取得した土地を合わせて1,582.25平方メートルです。駐車可能台数は、現時点で41台を予定しています。駐車場以外の活用は、「いいじゃんまつり」など市のイベントなどにおいても有効に活用していきたいと考えています。原則として、サンライブの休館日と開館時間外は、駐車場を閉鎖する予定です。



サンライブ新駐車場

給食調理等委託事業

Q 夏休みの昼食弁当提供事業を学校給食協会で実施できないか。

A 夏休みの期間は、学校給食センター調理場内の設備や厨房機器の更新、修繕などのメンテナンスを行う必要がある他、調理員の事務作業、職員研修を行っていること、事業の実施にあたっても人員の確保、食事の配送、ごはん･パンや牛乳の確保などさまざまな課題があるため、これらの課題を解消できるか否かを調査研究していきます。

認定第５号　令和７年度下水道事業会計決算認定

収益的収入および支出

Q 下水道使用料は令和６年度から約8,500万円増加している。料金改定時の想定と比較して、どの程度の実績となったか

A 料金改定時の経営戦略では、令和７年度の使用料を約７億8,180万円と見込んでいました。実績は約７億2,990万円で、想定より約5,200万円少ない状況です。

企画総務委員会報告

委員長：林　久子

主な審査内容

議案第 45 号　議会の議員及び長の選挙における電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例の制定

「地方公共団体の議会の議員及び長の選挙に係る電磁的記録式投票機を用いて行う投票方法等の特例に関する法律」第３条の規定に基づき、市議会議員と市長の選挙において電子投票を実施するため、必要な事項を定めます。

Q 条例第２条では、「公職選挙法第47条、第49条並びに第50条第３項及び第５項に規定する投票を除く」とされているが、その内容は。

A 市が行う市議会議員選挙と市長選挙で電子投票を行うことを規定するものですが、公職選挙法第47条の点字投票や第49条の不在者投票、第50条第3項と第５項の仮投票については、従来どおり紙による投票となります。

Q 電磁的記録式投票機を用いることによるメリットとデメリットは。

A メリットは、タブレット端末の画面操作により投票者の利便性が向上し、無効票の削減が見込まれます。また、開票作業を早く終えることができるため、選挙結果を早期に発表でき、開票事務に従事する職員数の削減と職員の負担軽減につながると考えています。投票用紙の印刷費や開票事務従事者の人件費、既存の投票・開票機器の保守点検費用など、概算で約130万円の削減を見込んでいます。

デメリットは、追加費用として約1,531万円の経費が必要となります。

Q 高齢者、デジタル機器の操作に不慣れな人、障がいのある人など、電子投票の操作に不安を感じる人もいる。誰もが安心して投票できるよう、どのような支援や配慮を考えているか。

A 市役所などで実際に端末に触れてもらう体験会やデモンストレーションを開催し、広報みよし、市ホームページ、SNSなどを通じて継続的に周知します。また選挙当日は各投票所にスタッフを配置して支援します。

委員会活動報告

年度テーマ

「データ活用による地域づくり」をテーマに調査研究を行い、先進市の愛知県豊田市と埼玉県さいたま市、千葉県柏市【柏の葉】へ行政調査を行いました。

１．愛知県豊田市：①豊田市オープンデータカタログサイト
②とよた iマップ（公開型地図情報システム）
２．埼玉県さいたま市：さいたま市デジタル意見広場
３．千葉県柏市【柏の葉】：スマートシティ構想と実際



豊田市での行政調査

豊田市 iマップは、豊田市が提供する電子地図サービスで、都市計画、道路、用途地域、土地利用などの情報をオンライン上で確認できる地理情報システムです。閲覧回数も多く広く活用されていることが分かりました。地理情報システム（GIS）を利用した避難所マップは分かりやすく、本市への導入に向けて提言していきます。さいたま市の「さいたま市デジタル意見ひろば」は、市政に市民の声を反映させる手段であり、誰でも気軽に参加できる市民参加型のデジタルプラットフォームです。このデジタルプラットフォームには15歳から64歳までの現役世代の回答も多く、幅広い世代からの意見を収集するのに、大変有効なツールになっていました。

現地調査

【バス停雨よけ設置工事（莇生新田バス停）】令和７年度の事業で完了しているさんさんバスのバス停雨よけ設置工事の現地確認と今後のバス停雨よけ設置について意見交換しました。

また、公共交通の分野で、現在実証実験中の乗り合い送迎サービス「チョイソコみよし」の増設した停留所も見学し、現在の利用件数など確認して、今後の事業の方向性を確認しました。


工事完了した莇生新田バス停

文教厚生委員会報告

委員長：竹谷　明永

委員会活動報告

年度テーマ

「高齢者が元気で楽しく安心して暮らせるまちづくり」

今後は高齢化が急速に進むことが見込まれ、１人暮らしの高齢者や、認知症の方、医療と介護の両方を必要とする高齢者も大幅に増加することが見込まれることから、取り組み事例などの調査研究のため先進自治体への行政調査を行いました。

①北海道千歳（ちとせ）市：高齢者支援の取り組みについて

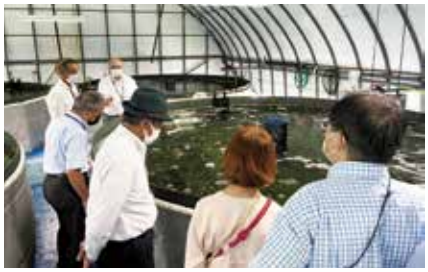
高齢者の人口増加に伴い、介護予防の重要性が高まっていたことから、平成26年４月に千歳市介護予防センター（千歳市しあわせサポートセンター）が設置され、介護予防普及啓発事業や地域介護予防活動支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業、きずなポイント事業が行われています。介護予防教室は、地域ごとに会場があり、自身の介護予防や地域での活動に役立てることを目的に実施されています。


千歳市しあわせサポートセンター

②北海道江別（えべつ）市：江別版「生涯活躍のまち」の拠点となる「ココルクえべつ」について

江別市では、生涯活躍のまち整備事業において、中高年齢者が希望に応じて地方や「まちなか」に移り住み、地域の多世代の住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができる地域づくりを目指しています。

事業者の公募により「ココルクえべつ」が誕生し、事業者が経験やノウハウを生かして、介護・医療、子育て支援、住まい、地域交流が１箇所に集約されていて、地の利を生かした事例を視察することができました。


ココルクえべつ

現地調査

医療介護連携拠点施設整備事業

みよし市民病院では、健康寿命の延伸を実現し、市民の皆さんが安心して生活できる地域包括ケアの構築を目指して「医療介護連携拠点施設」を整備しています。これまでの整備内容や事業の進捗状況を確認するため現地調査を行いました。令和８年８月末時点での進捗率は約４割で、来院者に危険のないよう、十分な通路の確保や警備員の配置により、安全に工事が進められていました。


みよし市民病院に建設中の医療介護拠点施設の現地調査

この施設は令和９(2027)年の５月の連休明けに開所予定です。

開所後に拠点施設で実施する予定の事業として、イベントホールは、午前は動画による患者向け案内や健康体操動画の放映、午後は病院スタッフや外部講師による健康講座、健康に関する測定会などが予定されています。医療、介護の他、保健、福祉などさまざまな団体や事業にも利用できる見込みで、将来的なソフト事業の拡充に向け、市関係部局、地域団体、ボランティアなどとの連携が進められる予定です。

経済建設委員会報告

委員長：田中　祐二

主な審査内容

議案第 48 号 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正に伴い、本市条例の引用条項の整理を行います。

Q 廃棄物の処理及び清掃に関する法律が改正された経緯と、改正内容のポイントは。

A 国の法律の主な改正点は２点あります。１点目は、金属やプラスチックなどを積み上げて仮置きするスクラップヤードに対する規制の強化です。２点目は、能登半島地震などの災害の教訓を踏まえた災害廃棄物の処理体制の見直しです。今回の条例改正は、法律に新たにこの２項が追加されたことに伴い、条例で引用している法律の条項番号を改めるものです。

議案第 54 号　令和７年度下水道事業会計 未処分利益剰余金の処分

地方公営企業法に基づき、使途が特定されていない未処分利益剰余金の処分については、使途に応じた処分をする場合、議会の議決が必要となります。

Q 一般会計に設置されている下水道関係の基金と、今回積み立てる１億円との関係は。

A 一般会計の下水道施設整備基金は下水道の建設整備に充てる目的ですが、今回の建設改良積立金に積み立てる処分は、下水道事業会計内にある未処分利益剰余金を、同会計内の建設改良事業に使用できるようにするものです。

委員会活動報告

年度テーマ

本年度のテーマ**「循環型社会の構築」**に基づき、先進的な取り組みを行っている自治体を調査しました。

東京都小金井市では、市民協働による４Ｒの推進や環境教育、企業連携を通じたごみ減量・資源化の取り組みについて、**神奈川県三浦郡葉山町**では、「ゼロ・ウェイスト」の理念に基づく生ごみ資源化や細分化された分別項目、リユース推進などの取り組みについて調査を行いました。また、ごみ減量やリサイクル率向上に向けた市民への啓発や行政・市民・事業者が連携した資源循環の仕組み、持続可能な事業運営について見識を深め、本市における循環型社会の実現に向けた施策の参考とします。これらの先進事例を踏まえ、市民一人一人が主体的に参画できる循環型社会の実現に向け、本市においても具体的な施策の検討と推進に関し提言していきます。



行政視察先の神奈川県三浦郡葉山町で「紙おむつ･衛生ごみ等専用回収ボックス」を視察しました

現地調査

令和８年度９月補正予算に計上された、「道路維持管理事業」において舗装修繕工事が予定されている市道３路線について、舗装の劣化状況や工事区間を確認しました。

いずれの路線も、経年劣化などによる舗装のわだちやひび割れが多数ありました。これまで、職員による応急的な補修を行っているとのことですが、根本的な解決に至っていません。今回は、それぞれの路線で特に劣化が著しい一部区間において舗装修繕を行うことで、路面状況に起因する事故の未然防止につながることが期待されます。



舗装修繕工事予定の市道打越向山線など３路線を現地調査しました

市政を問う　代表質問

竹谷　明永（新世紀の会）



映像はこちら

令和７年度の決算概要

Q 一般会計歳入の決算額と前年度の比較は。また、主な増減理由は。

A 歳入決算額は、総額364億6,739万８千円です。前年度と比べ６億9,829万4千円、2.0％の増となりました。主な増減要因は、法人市民税が自動車関連産業の利益が減少したため減額となったものの個人市民税は賃上げの影響や令和６年度に実施の定額減税による税収の減から回復したこと、国庫支出金の児童手当交付金などの増や県支出金の学校情報機器整備事業費補助金の増などで増額となったことによるものです。

Q 一般会計歳出の決算額と前年度の比較は。また、主な増減理由は。

A 歳出の決算状況は、総額340億713万8千円です。前年度と比べ17億9,246万円5.6％の増となりました。増加の主な要因は、城山保育園建設工事費、物価高対応子育て応援手当、GIGAスクール用タブレット端末購入費などの増によるものです。

病院事業会計

Q 医療介護連携拠点施設の進捗は。

A ８月末時点の進捗状況は約４割で、今後の予定は、躯体工事終了後、内装と外装工事、駐車場や外構工事、２階渡り廊下の工事や既存病院の正面自動扉を含む1階連絡道路の工事などを実施します。竣工は令和９(2027)年３月末で、４月から備品の搬入と関係部署の移動、電子カルテ関係のネットワーク構築期間とし、５月の連休明けに開所する予定です。



現在建設中の医療介護連携拠点施設

原口　百合子（希望の風）



映像はこちら

技術職人材の確保

Q 施設マネジメント計画やインフラ整備などの推進を図るにあたり、本市の技術職人材の確保は十分か。

A 必要な人材確保に努めているところですが、不足している状況です。

Q 必要な人材確保の方策は。

A 本市で働く魅力と専門性をいかせるキャリアを積極的に発信し、採用と定着の両面から「選ばれる市役所」となるよう人材確保に取り組んでいきます。

災害への備え

Q 7月に発生した熊本地震被災地に派遣した職員から見た、本市に置き換えた場合の災害対策上の課題は。

A 現地で痛感したことは「受援体制」の重要性です。本市では、災害時の応援職員の受け入れ実績がないため、手順や役割分担などをあらかじめ整理しておく必要があります。また、避難所では食料や水の確保と同時に、清潔で安全かつプライバシーに配慮したトイレ環境確保の重要性も改めて認識しました。

Q 災害用トイレの数は想定避難者数に対して十分か。

A 本市では、計画的に備蓄を進めてきましたが、愛知県が６月に公表した想定避難者数が増加したことや災害の長期化を考慮し、さらなる確保が必要と考えます。

Q 小中学校に備えている非常電源の機能は。

A 体育館に「自立ユニット」が設置してあり、プロパンガスを燃料として発電し、体育館内の空調、非常照明、非常コンセントに給電できる機能となっています。

Q 今年度予定している防災訓練の内容は。

A 暑熱対策から、11月28日に開催します。初の試みとして、会場を1カ所ではなく4カ所で実施予定です。内容は、地震発生による断水への対応などを取り入れた避難所開設訓練を中心に検討しています。

市政を問う　代表質問

田中　祐二（市民フォーラム）



映像はこちら

伊地田　妙子（公明党）



映像はこちら

高齢者の健康づくり

Q フレイル予防事業について、どのような課題を認識していて、今後どのように対応していくか。

A 現在のフレイル予防事業では、支援が必要なフレイルリスクの高い人の参加が少ないことが課題と認識しています。今後は、医療機関や関係機関、地域の支援者との連携を強化し、フレイルの兆候がある人を早期に把握するとともに、外出や社会参加の機会が少ない人を必要な支援や予防事業につなげていきます。



Q KDB（国保データベース）システムを活用した科学的根拠に基づくフレイル予防を推進する考えは。

A 本市も、KDB システムを活用し、健診、医療と介護に関するデータを一体的に分析することで、地域の健康課題を抽出し、より効果的な事業を実施していくことで、科学的根拠に基づくフレイル予防を推進していきます。

誰もが相談しやすい環境づくり

Q 性別や世代を問わず、相談をためらう人を必要な支援につなげるための環境づくりや取り組みは。

A 本市が進める重層的支援のアウトリーチを生かし、全庁横断的に連携しながら、悩みを抱える人が安心して相談し、必要な支援につながる環境づくりに努めていきます。

令和8年熊本地震を踏まえた本市の災害対応

Q 平時は公用車として活用できる、トイレ機能を備えた多機能車両について導入する考えは。

A 公用車の更新時期も見据えながら、他自治体における導入事例、導入効果と運用実態について調査・研究を進めていきます。

誰もが必要な情報を受け取れるまちづくり

Q 重要な通知文書の案内などに、印刷物の文字情報を専用コードに変換し、スマホアプリで読み取ると音声で聞くことができる「ユニボイス」の導入を検討する考えはあるか。

A 他自治体の実施状況やその効果などを踏まえ、調査研究していきます。

Q 障がいのある人が、周囲に理解や配慮して欲しい内容をスムーズに伝えるための「ヘルプシール」は、障がい特性に応じた配慮を受けやすくする有効な手段。導入・配布を検討する考えはあるか。

A 他自治体の実施状況やその効果等を踏まえ、調査研究していきます。



Q 障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせる環境づくりに向け、当事者の声を反映したコミュニケーションに関する条例を制定してはどうか。

A 障がいのある人をはじめ、関係団体や関係機関の皆さんと意見交換を通じて当事者の意見を伺いながら、令和９年４月１日の施行を目指し、「（仮称）障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用を促進する条例」の制定に向けた準備を進めていきます。

高齢者肺炎球菌ワクチン

Q 肺炎球菌ワクチン接種機会を逃した高齢者や、より幅広い予防を希望する高齢者への支援について、本市独自の取り組みを検討する考えはあるか。

A 国の動向や専門的な知見を注視し、適切な情報提供に努めるとともに、独自助成の必要性も含め、より効果的な保健事業の在り方を検討していきます。



市政を問う　一般質問

寺本　弘子（希望の風）



映像はこちら

こどもをSNS利用の危険や依存からどう守るか

Q スマホ使用が成長期のこどもの脳にどのような影響があると考えるか。

A 東北大学加齢医学研究所が仙台市の公立小中学校に通う全児童生徒を対象に行った研究では、スマホなどの利用時間が長いほど学力が低いと報告されています。また、同研究所による平均11歳の233人の追跡調査では、スマホを含むネット漬けのこどもほど、思考や創造のほか、人の気持ちを理解したり、場の空気を読んだりするようなコミュニケーションを司る前頭前野を中心に脳が発達していないと報告されています。

Q パパママ教室や乳幼児健診のタイミングで、愛着障害につながるスマホ子守の弊害について啓発が必要と考えるが本市の考えは。

A パパママ教室などの妊婦を対象とした機会を積極的に活用し、出産前からスマホ子守の弊害と親子の関わりの大切さについて啓発することで、より一層の予防的支援に努めていきます。

Q こどもにスマホを持たせる前の保護者へ、こどもの SNS 利用の危険や依存について啓発が必要と考えるが、小学校就学時健康診断や小学校入学説明会で啓発を行う考えは。

A 就学時健康診断や小学校の入学説明会など、入学前に保護者が全員集まる場において、こどもの SNS 利用に伴う危険性や依存などのリスクについて、啓発していきます。



Q みよし市全体でこどもを SNS 利用の危険や依存から守り、こどもを健全に育てるための方策は。

A 本市のこどもたちの SNS の長時間使用に関して、使い方などの現状を詳細に調査し、専門家の助言を受ける場を設けるなど、方策を検討していきます。

林　久子（希望の風）



映像はこちら

高齢者の熱中症対策

Q 熱中症による重大な健康被害の発生防止のためにクーリングシェルターを設置している。現在の設置数と今後の取り組みは。

A 令和８年８月末現在、公共施設26カ所と民間施設12カ所の計38施設を指定しています。さらなる拡充に向けて、クーリングシェルター開設に協力いただける施設を募集中で、市民の皆さんがより身近で利用しやすい暑さをしのぐ場所の確保に努めていきます。

Q 低所得高齢者のみの世帯に対するエアコン購入・設置費用の助成制度はあるか。今後の助成制度導入の可能性も含め検討は。

A 現在、低所得高齢者のみの世帯に限らず、エアコン購入と設置に要する費用の助成制度は設けていません。今後の助成制度導入については、他自治体の実施状況やその効果などを踏まえ、調査研究していきます。

オーラルフレイル予防対策

Q 成人歯科健診の事業の目的と昨年度の受診率は。

A 成人歯科健診は「健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失を予防すること」を目的として実施しています。令和７年度の対象者は8,681人、受診者は481人、受診率は5.5％となっています。

Q 成人歯科健診にとどまらず、50歳代からの生活習慣にも着目したオーラルフレイル（口腔機能の衰え）に関する健診の導入を検討できるか。



A 50歳代から口腔機能の低下に早期に気付き、予防に取り組む事は重要だと考えます。今後、50歳代からの生活習慣にも着目したオーラルフレイルに関する健診の導入や対象者の拡大について、健診項目や実施方法、受診後の支援など整理し、豊田加茂歯科医師会と協議し検討していきます。

市政を問う　一般質問

阿部　憲明（公明党）



映像はこちら

里親制度の推進

Q 里親のなり手が少ない現状について、その要因をどのように認識しているか。

A 里親制度の社会的認知度はまだまだ低く、こどもを養育するための経済的な不安を感じている人も多いことや里親委託に対する実親の同意を得ることが難しいことなどが課題であると認識しています。

Q 「里親ショートステイ」は里親への理解促進や新たな里親確保にもつながると考えるが、どのようか。

A 登録された里親のもとで、こどもを短期間受け入れる制度で、家庭的で安心できる環境の中で一時的に過ごすことができるという点で、こどもにとって心理的な安定を支える有効な手段だと捉えています。

Q 養子縁組を前提として乳児を迎え入れ、養育を行う里親について育児休業制度の対象となるか。

A いわゆる「育児・介護休業法」における育児休業の対象となる「子」に含まれ、育児休業を取得することができます。

Q 市民への里親制度の周知・啓発が重要と考えるが今後の取り組みは。



A 広報みよしやホームページを活用しての制度紹介、窓口でのパンフレット配布、公共施設でのポスター掲示などを行っていて、継続して取り組んでいきます。

Q 里親などのもとで育ったこどもや若者が自立した生活を送れるよう関係機関と連携した継続的な支援が重要と考えるが、本市の見解は。

A 本人の意向に寄り添った進学、就職、住居、生活面にわたる切れ目のないきめ細やかな支援が重要だと認識しています。支援を行う関係機関が連携して伴走支援を行っていきます。

牧田　充生（日本共産党）



映像はこちら

平和行政・平和教育

Q 令和８年度に本市が実施した平和事業は。

A 中学生16名の参加で7月29日､30日の２日間で「中学生平和学習広島派遣事業」を実施しました。広島と長崎に原爆が投下された８月６日､９日と15日の終戦の日に黙とうを捧げ、半旗の掲揚を実施し、平和の大切さを感じる機会となりました。また､８月15日には戦没者に黙とうを捧げるとともに、平和の尊さを改めて共有する機会として「戦没者への献花」と「平和を紡ぐパネル展」を開催しました。



平和を紡ぐパネル展

Q 中学生平和学習広島派遣事業に参加した生徒と引率者の感想は。

A 生徒からは「原爆ドームや資料館の展示を見て、その生々しさに言葉を失い、当時の人々の恐怖や苦しみが痛いほど伝わってきた。」「今ある当たり前の日常がどれほど尊く幸せなことなのかを痛感し、自分が感じた思いを、自分の言葉で周りに伝えていくことが、平和な未来をつくるために私たちがすべきことだと強く思った。」などの感想が寄せられました。団長としては、生徒たちが現地で実物に触れ、語り部の生の声を聴く中で平和への思いを強くしていく様子が見られました。

Q 中学校での「被爆ピアノ」を使用した平和学習は。

A 11月６日に三好丘中学校で全校生徒を対象に平和学習広島派遣生徒の報告会を行います。その際、被爆ピアノ所有者による講話と、生徒たちによる被爆ピアノの演奏体験などを行います。また、他の中学校も平和学習広島派遣生徒の報告会を行い、平和の意識を高める教育を推進していきます。

議会運営委員会活動報告

議会運営委員会　委員長：塚本　直樹

1　行政視察

本年度のテーマである「議会活動の活性化」の調査研究のため、7月16日、17日に広島県三次市（みよしし）、岡山県笠岡市（かさおかし）にて行政視察を行いました。両市議会は、早稲田大学デモクラシー創造研究所が実施している「地域経営のための議会改革度調査2025」ランキングにおいて中国地方で上位の自治体で、議会中継や若年層に特化した議会モニター制度、中学・高校生を対象にした交流会などのさまざまな議会活動を積極的に展開していることを調査し、今後の議会活動の活性化に向けた参考としていきます。

（本市と三次市は、災害時における相互応援協定を締結していて、災害時の協力を再確認しました。）



三次市での行政視察



笠岡市での行政視察

2　令和８年度中に協議・決定する項目（進捗状況）

（１）一般質問・代表質問の実施方法、通告から実施日までの期間短縮（協議中）
（２）議会報告会・意見交換会の実施方法見直し（若者の参加／三好高校・東海学園大学に呼びかけ）
（３）常任委員会の任期について、現在試行実施の2年制の評価と検討（協議中）



特別委員会活動報告

議会改革推進特別委員会

委員長：御国　しおん

委員会活動報告

先進地の視察を行いました。
日程：8月６日　三重県いなべ市、伊賀市
調査テーマ
多様な手法による住民意見の収集と議会機能の強化


いなべ市での行政視察

【いなべ市視察】

意見交換会や議案に対する市民意見の募集、議会モニター制度などの住民意見を収集する多様な手法と、市議会行動計画に基づく議案勉強会や討議、討論などの議会制度について調査しました。


伊賀市での行政視察

【伊賀市視察】

タウンミーティングや地域意見交換会、出前講座などの住民意見を収集する多様な手法と、議会機能を強化する政策討論会や議員立案の政策提言フローについて調査しました。

【今後の予定】

- 住民意見の、より良い収集に向けた議会報告会の在り方を検討します。
- 議員討議会の活性化による議会機能の強化を図ります。

まちづくり特別委員会

委員長：奥村　祐右

今年度のテーマ

市民がつくるまちづくりにおいて行政が果たす役割（三好ケ丘駅周辺開発に向けた規制や誘導を活かす計画的なまちづくり）

10月中にまちづくりに関する先進事例を調査するため、茨城県取手市と千葉県鎌ケ谷市への行政視察を予定しています。

視察先：茨城県取手市の取手駅周辺、千葉県鎌ケ谷市の新鎌ケ谷駅周辺

調査事項

駅周辺のまちづくりにおいて、行政がどのような将来像を描き、土地利用の規制や誘導、公共施設の配置、民間事業者や市民との連携などを通じて、まちの形成に関わっているのかを調査します。

また、行政がすべてを決めるのではなく、市民や民間事業者の力を生かしながら、行政が必要な場面でどのように方向性を示し、まちづくりを誘導していく手法があるのかも学びます。

議会傍聴声かけ隊

みよし市議会では、開かれた議会を目指し、市民の皆さんに議会活動への理解を深めてもらうため、議会改革推進特別委員会を中心に「議会傍聴声かけ隊」を編成し、議会傍聴の PR 活動を行っています。

「議会傍聴声かけ隊」とは？

議員が、定例会の日程や一般質問の内容・質問順序などをまとめたチラシを市内の商業施設などで、市民の皆さんに直接配り、議会傍聴を呼びかける活動です。皆さんに議会の様子をご覧いただくことで、市政への関心を高めていただきたいと願っています。

直近の活動報告

９月定例会開催に先立ち、８月24日（月）に、市内商業施設やリサイクルステーションで活発な声かけ活動を実施しました。



イオン三好ショッピングセンター



トヨタ生活協同組合メグリア三好店



リサイクルステーション
（トヨタ生活協同組合メグリア三好店駐車場）

当日は、議会改革推進特別委員会委員をはじめ、多くの有志議員が参加し、市民の皆さんと直接触れ合いながら、議会活動についてお伝えしました。

今後の活動について

私たちは、一人でも多くの市民の皆さんに議会活動を知っていただき、議会と市政をより身近に感じていただけるよう、これからもこの活動を続けていきます。ぜひ、お気軽に議会傍聴にお越しください。皆さんのお越しをお待ちしています。

次回定例会のご案内

令和8年第4回定例会の予定は次のとおりです。

会　期	11月30日（月）～12月17日（木）
一般質問	12月２日（水）、12月３日（木）
議案質疑	12月７日（月）

※一般質問はひまわりネットワークでも生中継しています。

委員会

●予算決算委員会	12月７日（月）
●企画総務委員会・分科会	12月８日（火）
●文教厚生委員会・分科会	12月９日（水）
●経済建設委員会・分科会	12月10日（木）
●予算決算委員会	12月15日（火）

議会を傍聴してみませんか？

・本会議場は7階
・委員会会場は6階

傍聴を希望の方で手話通訳等の必要の方は７日前迄に事務局までお申し出下さい。

編集後記

本号では、予算決算委員会や常任委員会の審議・報告など、議会の重要な活動について、これまで以上に内容の充実に努めました。市民の皆様に、議会の動きがより身近に感じられ、楽しくお読みいただけるよう、今後も分かりやすく、親しみやすい議会だよりを目指していきます。

My City Miyoshi
VEGETABLE OIL INK
環境に優しい植物油インキを使用
UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

〒470-0295 愛知県みよし市三好町小坂５０
TEL〈0561〉32-2111 ㈹　FAX〈0561〉34-4549
みよし市議会ホームページアドレス　http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/
（市ホームページから市議会の欄をクリックしてください。）
QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。